

夏場シーズンにキックオフ

東京冷空
事業協組
篤信彦氏をアドバイザーに

冷熱・空調設備の共同受注
で実績を上げる東京冷凍空調
事業協同組合（理事長＝沖原
正宜氏）が三月二十八日、港
区海岸のインターコンチネン
タル東京ベイに組合員、取引
先など約六十名を集めたキッ

クオフ・パーティを行った。
本格シーズンに向けた工事も
の確保、受注消化に求心力を
高めるのが狙い。併せてジャ
ーナリストの篤信彦氏が政治
と経済をテーマにした時局講
演を行った。

同協組は〇〇年、都内の中
小設備工事業社が参集して設



キックオフ・パーティの会場

立。冷熱・空調設備工事の受
注、資材の購入など共同事業
を展開しつつ受注量を積み上
げてきた。昨年度（12月期）
には四十三億円の事業高を計
上し、前年度（10億円台）比
で四倍超という過去最高規模
を手中にした。公立小・中学
校の教室空調の急増などを背
景としたもの。教室空調のシ
ーズンである昨夏には一日一
千名を超える動員を行うなど
、大型物件への対応力を示
しつつ事業高の積み上げに結
び付けた。

東京湾を眺望するサンセツ
トラウンジで行われたキック
オフ・パーティには、組合員
のほか取引先など約六十名が
参加。用意されたテーブル席

昨年度の事業高
は、同協組の設立
時の組合員企業の
総売上高（約45億
円）に匹敵する規
模。沖原理事長は、
学校空調の増勢と
いう市況要素にと
もに、この分野に
強みを発揮する顧
客筋に恵まれたた
めとし、「仕事量
が増えなくても消化で
きる実力を試さ
れ、全力で応える

を越えた交歓が繰り広げられ
た。沖原理事長は「よき場所
と料理、よき仲間とともに快
適な時間を過ごす」という、
キックオフ・パーティのもう
ひとつの意図が満足できたと
している。また篤信彦氏の時
局講演は、ホットな話題を盛
りこみながらもユーモアを混
じえ、「分かりやすく親しめ
る内容」と出席者の感想。篤
信彦氏は同日付で同協組の
初代アドバイザーに就任。